

市長就任以来、私の大好きな松山が笑顔あふれるまちになるよう、全身全霊で走り続けてきた3年間でした。

市民の皆さんが主役のまちづくりを進めるためのタウンミーティングは、今年5月から二巡目に突入し、皆さんからの貴重なご意見を施策につなげています。

また松山の魅力を全国に発信するアニメの制作や「まつやま農林水産物ブランド」のトップセールスをはじめ、保育園などの園庭の芝生化、福祉総合窓口の

開設、愛ランド里島構想、風早レトロタウン構想の策定など、これまで「一人でも多くの人を笑顔に全国に誇れる、わがまち松山」をキャッチフレーズに7つの公約の実現に向け、全力で取り組んできました。

任期も残すところあと1年となり、皆さんの笑顔が原動力となり、皆さんの笑顔の輪を市政推進の原動力に変え、第6次総合計画に掲げる将来都市像「人が集い笑顔広がる、幸せ実感都市まつやま」の実現を目指し、誠心誠意努めてまいります。

松山市長 **野心 若仁**

市政特集 笑顔広がるまち 一歩ずつ着実に

～一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる わがまち松山～



市民134人の声でサウンドロゴを収録
▲市民みんなで松山の良さを見つめ直し、磨き、全国へ発信する「だんだん松山プロジェクト」を推進中。ブランドメッセージ「いい、加減。まつやま」を作成し、ロゴマークを市民投票で選定するなど、推進方をまとめた「都市ブランド戦略プラン」を策定（平成25年3月）。メディアを通じて全国に松山の魅力を発信するシティプロモーションを推進し、その効果は広告額に換算すると平成23・24年度で22億円に

「誇れる」まちの長所を活かし笑顔に

環境モデル都市に選定（平成25年3月）

▲観光誘客、農林水産物のPR、企業誘致などで市長自ら積極的に活動。農林水産物の園地視察では、「工夫」「苦労」を直接聞き、トップセールスに臨む

トップセールス

▲ごみ減量や地域特性を生かした太陽光発電システムの導入実績など、低炭素型のまちづくりを目指す本市の取り組みが評価され、全国20都市の一つとして選定

カラムンタリンの園地を視察する市長

歩いて楽しい健康増進まちづくりの推進

▲歩行者、自転車を利用しやすいまちづくりを目指し、花園町通りなどで社会実験や賑わい創出事業を実施

花園町通りの社会実験

「瀬戸内・松山構想」の推進

▲広島市や船橋、鉄道会社などと連携して旅行商品を開発し、大手旅行会社の送客キャンペーンを誘致

「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に

道後温泉本館改築120周年記念事業・伊佐庭如矢顕彰

▲本館改築120周年を控え、地域住民と活性化事業を実施。また本館を改築した伊佐庭如矢を顕彰

堀江港の活性化

▲航路が廃止された堀江港活性化のため、地元住民と協働で交流施設を整備（平成25年3月）

鳥の観光宣伝大使「しまぼう」

▲鹿島とJR北条駅前通り周辺を中心に、北条地域の賑わいを創出

▲里島ツーリズムの推進、定住の促進、人材育成などの重点プロジェクトを軸に島しょ部を活性化

愛ランド里島構想を策定（平成24年3月）

▲24時間365日の小児救急医療体制維持、小学1～3年生の入院費用助成に加え、新生児の応急手当を受講できる「パパ・ママ救命講習」をスタート

「誇れる」福祉・医療で笑顔に

高齢者見守りネットワーク

▲高齢者ら、見守りが必要な人の安全・安心確保と「孤立死」防止を目的に民間事業者と連携

子ども健全育成事業

▲40・50・60・70歳の特定年齢の市民を対象に無料受診できるようにし、口腔の健康管理を推進

地域相談支援センター開設（平成25年4月）

▲身体・知的・精神的3障がいに加え、発達・高次脳機能障がい、難病、虐待に関する総合的な相談窓口を市内2カ所に設置

小児医療・救急体制の充実

▲24時間365日の小児救急医療体制維持、小学1～3年生の入院費用助成に加え、新生児の応急手当を受講できる「パパ・ママ救命講習」をスタート

「誇れる」子育てで笑顔に

商店街保育（てくるん）

▲大道商店街の空き店舗を活用し平成24年3月に開設された「てくるん」は、託児や育児関連イベントが行われ、子育て支援や市民交流の場に

芝生で走る三津浜幼稚園の園児ら

▲保育園・幼稚園・小学校など、現在12カ所に拡大。子どもの運動・コミュニケーション能力向上につなげる

利用者が10万人突破（平成25年6月）

▲大街道商店街の空き店舗を活用し平成24年3月に開設された「てくるん」は、託児や育児関連イベントが行われ、子育て支援や市民交流の場に

「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に

地域防災力の強化

▲機動重機消防団を整備したほか、教職員の防災士養成などにより防災士数全国一を堅持

市有施設の耐震化推進

▲耐震化が完了した河野小学校

▲小中学校校舎や支所、公民館、消防団拠点施設・水道施設などの耐震化を可能な限り前倒して推進

通学路の危険箇所への安全対策

▲通学路点検の様子

外環状線の整備

▲建設が進む外環状線

▲松山インターチェンジ～松山空港を結び、渋滞緩和と物流円滑化を目的に国・県と共同で整備

▲危険箇所を校区ごとに市ホームページで公表し可能な対策から順次実施

「現地・現場を大切に」「市民目線」を基本姿勢に、松山の魅力発信や市民サービスの向上など、さまざまな施策に取り組んだ野志市政3年間の取り組み状況を、7つの公約ごとにお知らせします。（11月14日現在）

「誇れる」行政サービスで笑顔に

タウンミーティング二巡目実施中

▲市内全41地区で一巡目の成果・課題を踏まえながら、二巡目を実施中

コンビニ収納スタート（平成25年4月）

▲介護保険料、保育料、上下水道料金などが取り扱い可能に。平成26年4月からは市県民税など8種目にも拡大予定

福祉総合窓口設置（平成24年7月）

▲市役所別館1階で、保険や福祉に関する105業務の届け出や総合的な相談業務に対応

「誇れる」ことばで笑顔に

「この街で」ウェディング（平成25年2月）

▲市民の愛唱歌「この街で」誕生8年目を記念し、公募5組の事前結婚式を開催

グッドデザイン賞受賞（平成25年10月）

▲市内各所での「ことば」の展示が市民の交流や地域の活性化に貢献している点を評価される

平成24年に優勝した松山東A

▲羽田空港で地方予選を開催するなど、さらなる情報発信を図り、参加チームも年々増加

年	月	主なできごと	
平成23年	1	一巡目タウンミーティングスタート	
	4	北条スポーツセンター体育館供用開始 市消防団女性分団が発足	
	5	スクールミーティングスタート①	
	6	坂本幼稚園を皮切りに、園庭芝生化スタート	
	7	姉妹都市提携30周年で米国・サクラメント市を訪問 鹿島の渡船・駐車場・周遊船料金値下げ社会実験スタート	
	8	地域交流センター（三津三丁目）完成 水道管路管理センター（保免中三丁目）完成②	
	9	小学1～3年生の入院費無料化スタート	
	10	第1回えひめまつやま産業まつりを開催③	
	11	危機管理担当部を新設 道後温泉と台北・新北投温泉との友好交流協定調印	
	24年	3	まちコミスポット「てくるん」オープン
		4	島しょ部航空運賃助成スタート こども自転車免許証を交付④ ベルギーに観光俳句ポストを設置
5		育成コミュニティ・ボランティアの活動に関する協定締結	
7		福祉総合窓口を開設 松山で2度目のプロ野球オールスターゲームを開催⑤	
8		市内の自主防災組織結成率100%達成	
10		花園町通りで車線変更・歩行空間確保の社会実験	
1		全国初の俳句投稿サイトを開設⑥	
2		伊佐庭如矢顕彰企画展を開催	
3		松山城ロープウェイがリニューアル 中島斎場が完成 「おもてなし日本一のまち」宣言	
4		第6次松山市総合計画・第2次松山市環境総合計画施行 三津の朝市（旬・鮮・味まつり）開催	
25年	5	二巡目タウンミーティングスタート 石手川公園にビーチバレーコートが完成⑦	
	6	成田～松山航空便が就航 市選挙管理委員会が、全国初の大学内期日前投票所を開設	
	7	第39回日米大学野球選手権を開催 坂の上の雲ミュージアム来館者100万人達成⑧	
	9	まつやま経営交流プラザオープン 災害時要援護者情報の提供に関する協定を石井地区まちづくり協議会と締結	
	10	「道後オンセナート2014」キックオフイベント「うぶ湯SYMPOSIUM」を開催 「松山～台北松山」チャーター航空便運航⑨	
	11	姉妹都市提携25周年でドイツ・フライブルク市を訪問	

お問い合わせは、企画政策課 ☎948-6341 ☎934-1804へ